

昭和六十二年十月五日



セリカコンバーチブル (E-ST 162C-BKMGK) '87.10

トヨタ自動車㈱は、セリカに四人乗りフルオープンカー「セリカコンバーチブル」を新設定し、十月五日より全国のトヨタカローラ店で一斉に発売した。

※ 愛知県は名古屋トヨタディーラーでも販売

今回新設定した「セリカコンバーチブル」は簡単な操作でフルオープン状態を創り出せるパワートップ（電動式幌屋根）を採用し、開放感あふれる走行を気軽に楽しめる本格的コンバーチブル車としている。また、「セリカコンバーチブル」専用のボディを用いるとともに、カラードウレタンリヤバンパー、リヤスポイラー、リヤコンビネーションランプなども、専用品を採用し、パワートップとあいまって、スポーティで流麗な外観としている。

エンジンは、二・〇ℓハイメカツインカムヘレーザーα 3S 16バルブ×

トヨタ、セリカにフルオープンカー 「セリカコンバーチブル」を新設定

| 米国ASC社に架装委託 |

を搭載し、優れた動力性能と経済性を両立している。

「セリカコンバーチブル」は、トヨタ自動車の積極的な国際協力の一環として、米国トヨタ自動車販売㈱の協力を得て企画、開発されたものであり、トヨタ自動車がベース車両を製造、米国へ輸送し、優れた車両架装技術をもつASC社でパワートップを架装して、コンバーチブル車にしている。

(参考 ASC社概要)

社名	ASC Inc.
本社所在地	ミシガン州サウスゲート市
社長	H.C. プレクター (PRECHTER) 氏
設立	一九六五年
事業内容	コンバーチブル、サンルーフ等の車両架装ほか

なお、「セリカコンバーチブル」は受注生産方式とし、販売計画は月販100台程度を見込んでいる。

主な特長、標準価格、主要諸元は次の通り。

◎ 主な特長

一、パワートップ(電動式幌屋根)の採用

パワートップは、フロントウインドウ上方部にあるロック機構の操作とセンターコンソールに設けたスイッチ操作により運転席に座ったままで簡単に開閉できるものとしている。

パワートップは十分な剛性をもつた構造とし、素材にはアクリル繊維などを組みあわせた三層構造の「キャンブリア地」を採用、優れた耐久性、耐水性を確保している。

二、外観

ボデーはリフトバックタイプのセリカシリーズとは異なりトランクルームをもつ専用ボデーを採用している。また、カラードウレタンリヤバンバー、リヤスピラー、リヤコンビネーションランプ、テープストライプな

ども、それぞれ専用品を採用、パワートップとあいまつてスポーティで流麗な外観としている。

三、走行性能

エンジンは、高性能、低燃費に加え、低・中速域の高トルク化などにより、ゆとりのあるエンジンとして好評の二・〇ℓハイメカツインカムエンジンヘレーザーα 3S16バルブを搭載している。

また、コンバーチブル車とするため、ボデー各部を補強し、十分な耐久性と、高い操縦性・走行安定性を確保している。

◎標準価格（応急用タイヤ・標準工具一式付）

（単位：千円）

セリカ コンバ チブル	二・〇ℓハイメカ ツインカム ヘレーザーα 3S16バルブ 一、九九八cc	車名 エンジン ミッション 五速マニュアル	東京 名古屋 大阪
E C T	三、一三〇	三、一三五	三、一三〇
三、三三九	三、三三四	三、三三九	三、三三九

以上

トヨタ セリカ主要諸元一覧表

■車両型式・重量・性能

車両型式	GT-FOUR	CONVERTIBLE	GT-R	GT	ZR	SX	ST
	2000 TWINCAM16 TURBO 2WDイ-0付4速フルオートマチック	E-ST165-BLMVZ	E-ST162C-BKMGK	2000 TWINCAM16 E-ST162-BLMVF	E-ST162-BLMGK	E-ST160-BLMEL	E-ST160-BLMSL
車両重量	(1,360)	(1,220) (1,250)	(1,220) (1,250)	(1,150) (1,180)	(1,120) (1,150)	(1,070) (1,100)	(1,050) (1,080)
車両総重量	(1,635)	(1,440) (1,470)	(1,425) (1,455)	(1,425) (1,455)	(1,395) (1,425)	(1,345) (1,375)	(1,325) (1,355)
最小回転半径m	5.3				5.1		
燃料消費率 (km/l)	60(km/h) 10(km/h)	(16.5) (10.0)	(22.5) (21.0)	(19.6) (19.8)	(22.5) (21.0)	(25.5) (27.5)	
燃費標準値					(12.2) (10.8)	(12.8) (11.4)	

*車両重量・燃料消費率などの数値は、ミッション別にカッコの括りで区別しています。5速マニュアル車は(), 2ウェイ-0付4速フルオートマチック車は()です。電子制御式2ウェイ-0付4速フルオートマチック車は()です。車両重量および車両標準車は、マルチスパイク電動サンルーフ装備の場合+20kg、4輪ESC装着車の場合+10kg、それそれ増加します。燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。実際の走行時には、この条件(気象、道路、車両、運転、整備などの状況)が異なりますので、それに応じて燃料消費率が異なることがあります。

■寸法・定員

全長 mm	4,365(コンバーチブルは4,410)
全幅 mm	1,690
全高 mm	1,295(コンバーチブルは1,320)
ホイールベース mm	2,525
トレッド 前 mm	1,465(1 GT-FOURは1,440)
最底地盤上高 mm	165(GT-FOURは160)
室内幅 mm	1,755(コンバーチブルは1,645)
室内高 mm	1,415
乗車定員名	5(コンバーチブルは4)

*1 60km/h、65km/h、70km/h試験車、*2 チルト&スライド電動サンルーフ装着車の場合、0.045mになります。

■変速比・減速比

車種	2000 TWINCAM16 TURBO	2000 TWINCAM16	2000 16VALVE	1800
第1速	(3.583)	(2.893)	(2.885)	(2.538)
変速比	(2.045)	(2.041)	(2.041)	(2.041)
第3速	(1.333)	(1.322)	(1.322)	(1.322)
第4速	(0.912)	(0.708)	(0.708)	(0.708)
第5速	(0.731)	(0.820)	(0.731)	(0.731)
後退比	(3.583)	(2.153)	(2.153)	(2.296)
減速比	(4.285)	(2.296)	(2.296)	(2.296)
	(2.928)			

■エンジン

車型	2000 TWINCAM16 TURBO 3S-GTE	2000 TWINCAM16 3S-GELU	2000 16VALVE 3S-FE	1800 IS-iLU
種類	直列4気筒DOHC16バルブ・ターボ	直列4気筒DOHC16バルブ	直列4気筒OHV	直列4気筒OHV
使用燃料	無鉛ガソリン			
総排気量 cc	1,998		1,832	
内径 × 行程 mm × mm	86.0 × 86.0		80.5 × 90.0	
圧縮比	8.5	9.2	9.3	9.0
最高出力 ps/r.p.m.	ネット185/6000	ネット140/6200	ネット120/5600	クロス105/5400
最大トルク kg m/r.p.m.	24.5/4000	17.5/4800	17.2/4400	16.0/3000
燃料供給装置	EFI(電子制御式燃料噴射装置)			○(電子制御式燃料噴射装置)
燃料タンク容量 l	60			

*エンジン出力表示には、ネット値とグロス値があります。●「クロス」はエンジン単体で測定したものであり、「ネット」とはエンジンを車両に搭載した状態とほぼ同条件で測定したもののです。同じエンジンで測定した場合、「ネット」は「クロス」よりもガソリン自動車で約15%程度低い値(自己会話)となります。

■ステアリング・サスペンション・ブレーキ

ステアリング	ハンドルアシスト付ラック&ピニオン
前	コラム式(イ-0付ラック&ピニオン)
後	ラック式(イ-0付ラック&ピニオン)
サスペンション	
前	ストラット式コイルスプリング(スタビライザー付)
後	コイルスプリング式(リバウンドコントローラ付)
ブレーキ	
前	ベンチレーテッドディスク
後	ディスク(リヤディスクブレーキ)